

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
<b>1. ライフプランの作成</b>								
(1)	ライフプラン作成の意義	●豊かな人生を送るための3つの領域(生きがい、経済、健康)の現状について一般的な情報をつかみ、問題点を理解している。	a					
(2)	ライフプラン作成の目的	●ライフプランを作成する目的と効果が何であるか理解している。	c					
(3)	ライフステージ毎のライフスタイルの特徴	●年代別ライフステージの社会状況下の基本的な特徴を理解している。 ●各年代での平均的な生活パターンの水準を理解している。	b					
(4)	生活設計上の基本的な数値の把握	●生活費・結婚・住宅・教育・入院・介護・老後・葬儀などの日常生活に関連する基本的数値を把握している。 ●生活関連データと現状の一般的な経済・金融状況も把握している。	b			3		
(5)	ライフプラン上の目標達成	●ライフプラン上の目標達成に利用される金融商品等の基礎知識がある。	b					
(6)	ライフプランのための諸制度活用	●ライフプランのために利用できる国、自治体、企業等野制度についての基礎知識がある。	b					
<b>2. ライフプランニングの基礎</b>								
(1)	ライフイベント表の作成	●クライアントのライフプラン上の目標を明確化し、ライフイベント表に盛り込むことができる。	a					
(2)	キャッシュフローの基礎知識	●キャッシュフローを予測するための基本的な手法(上昇率、株式会社効率、割戻しの知識)や、それを適用する根拠が理解している。 ●6つの係数の必要性を理解している。 ・終価係数      ・資本回収係数 ・現価係数      ・年金終価係数 ・減債基金係数   ・年金現価係数	a	[24],[25],[26]	[24],[25],[26]	[26],[27],[28]	[24],[25],[26],[27]	1, [25],[26],[27]
(3)	可処分所得の計算	●実態としてのキャッシュフローを理解するための税金と社会保険料の控除項目と手取り収入を把握できる。	b	2				
(4)	キャッシュフロー表の作成	●事例に基づいて、基本的な(現状把握型)のキャッシュフロー表が作成できる。 ●アドバイスを盛り込んだ提案型のキャッシュフロー表が作成できる。	a	[20],[21]	[21],[22],[23]	[23],[24],[25]	[21],[22],[23],[24]	[22],[23],[24]
(5)	個人バランスシートの作成	●個人バランスシートの作成意義を理解している。 ●事例に基づいて、基本的な(現状把握型)の個人バランスシート(資産負債対照表)を作成でき、資産と負債のバランスを説明できる。 ●キャッシュフロー表と個人のバランスシートとの関係を理解している。	c	[34]	[34]	[35]	[33]	[34]
<b>3. FPとコンプライアンス</b>								
(1)	6つのステップとFPに必要な力量および倫理規程	●FPの業務活動が円滑に行えるように、またFP業務が社会的信頼にた支え得るよう日本FP協会によって定められた諸規程について、その意義と概要を理解している。 ●FPの6つのステップそれぞれの業務内容と、それに必要な力量および倫理が見についている。	a	[1]	[1]		[1]	[1]
(2)	関連業法、その他の法律	●FPにとってのコンプライアンスの重要性と意義を理解している。 ●金融商品販売法および消費者契約法の基本的な内容と、それらと業務基準規程との関係を理解している。 ●税理士方・弁護士・投資顧問業方(金融商品取引法)、保険業法などに基づく税理士等専門家と、FPとの業際について理解している。 ●FPの執筆活動当における著作権法、金融商品仲介業制度(金融商品取引法)、個人情報保護法などについて理解している。	a	1,[2]	1,[2]	1,30,[1],[2]	1,[1],[2],[3]	1,[2],[3]
<b>4. 教育資金設計</b>								
(1)	子どもにかかる資金の全体像	●養育費・教育費・結婚資金援助・住宅資金援助等、子どもにかかる資金についての全体像を理解している。	b					
(2)	教育プランの作成	●大学・専門学校・留学などの選択肢を含めた教育プランについての知識がある。	b					
(3)	教育費に関する基礎知識	●小学校から大学までの各段階で教育費と生活費(私立と国公立の比較、初年度費用など)についての知識がある。	a					
(4)	教育資金の作り方	●金融商品選択のポイント、子ども保険の利用法などを理解している。	a					
(5)	教育ローンや奨学金の概要と利用法	●国の教育ローン、民間金融機関の教育ローンなど主な奨学金制度の概要と利用法を把握できる。	c	[28]	[28]		10	
<b>5. 個人事業主・中小法人の資金計画</b>								
(1)	資金調達プランニング	●個人事業主・中小法人の決算書や財務内容の基本的な概要を理解している。 ●個人事業主・中小法人の資金調達の概要を理解している。	c			10	10	10
(2)	資金調達の種類と特性	●間接金融と直接金融の違い等、原則的な資金調達の種類と特性の概要を理解している。	c				10	

※AFPレベルでしっかり修得する必要性の高い順にa→b→c  
 ※問題番号は計算問題、[問題番号]は実技試験

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
<b>6. 住宅取得資金計画</b>								
(1) 住宅取得の考え方および取得方法等の選択肢	●マイホーム購入、賃貸、二世帯住宅、定期借地権住宅の基礎知識の理解ができる。	b						
(2) 自己資金の作り方と取得諸費用・税金	●自己資金を作るのに適した金融商品と利用の仕方を理解している。 ●「住宅取得資金贈与」「相続時精算課税制度」「つみたてくん」「特別住宅債券」「住宅積立郵便貯金」「財形住宅貯蓄」などの特例や優遇手段を知っている。 ●居住用不動産に関する不動産取得税、登録免許税、住宅借入金等特別税額控除(住宅ローン控除)、仲介手数料等関連費用を理解している。	a	[23]		9			
(3) 住宅ローンの返済計画の立て方・返済額の計算	●元利均等返済、元金均等返済や親子ローンなどの返済方法のパターンを理解している。 ●基本的な(一般的な)返済方法について、速見表を使って返済額の計算ができる。	a				[23],[27]	9	[24]
(4) 物件の選び方と購入・登記までのスケジュールと手段	●物件購入と手付金の性格・契約についてのポイントについて基本知識を理解している。	c						
(5) 買い替え、リフォーム、バリアフリー化等	●買い替え、建替え、リフォーム、高齢者向けのバリアフリー化に関する基礎知識がある。	c						
(6) 住宅の売却と税金等	●居住用不動産売却時の税金等を理解している。	b						
<b>7. ローンの基本知識(1) 住宅ローン</b>								
(1) 住宅ローンの基本知識	●住宅ローンの利用先を知っている。 ●利用先の借入限度額、返済方式、適用金利、借入期間、保証人、団体信用生命保険等一般的なローン条件の理解ができる。 ●公的ローンと民間ローンの特色と違いを理解している。	a	[29],[30]	9,13,[27]	9,[29]		[30]	
(2) 公的住宅ローン	●住宅金融支援機構の融資の特徴と融資条件などを理解している。	a				[30]		
1) 住宅金融支援機構								
2) 年金住宅融資	●年金住宅融資の特徴と融資条件などを理解している。	b						
3) 財形住宅融資	●財形住宅融資の特徴と融資条件などを理解している。	b						
(3) その他の公的融資(自治体・公団など)	●それぞれの特徴と融資条件などを理解している。	b						
(4) 民間住宅ローン	●融資の種類、融資条件、借入に際しての注意点、返済方法・条件などを理解している。	a						
(5) 住宅ローンの借換え	●住宅ローンの借換への仕組みが理解できている。	a				9		
(6) 繰上げ返済	●繰上返済の方法についての理解ができる。	b						
<b>7. ローンの基本知識(2) その他のローン</b>								
(1) その他ローン利用の基本	●一般的なローンの種類と仕組みを理解している。	b						
(2) 総合口座とローン	●総合口座での借入れやゆうゆうローンの仕組みと利用の留意点を理解している。	c						
(3) 目的別ローンの概要と保険の契約者貸付制度	●各種目的別ローンの仕組みを理解している。	b						
<b>8. カードと消費生活</b>								
(1) カードの意義	●わが国で広く普及しているクレジットカード等が個人の決済手段として持っている意味を理解している。 ●クレジットカードの仕組みを理解している。	a						
(2) クレジットカード	●銀行系・信販系・流通系・消費者金融系などのクレジットカードの種類と特徴について理解している。	b		10				
(3) デビットカード等	●デビットカードや電子マネーの仕組みと特徴、クレジットカードとの違いについて理解している。	c						
(4) カード利用の注意点	●カードによる使いすぎ、カードローンやキャッシング、サインの重要性、紛失時の対処法について理解している。	a						
<b>9. 社会保険の基本知識(1) 社会保険の概要</b>								
(1) 社会保険の概要	●社会保険の仕組みを理解している。 ●少子高齢社会到来に伴う社会保険全般の問題点(給付と負担のバランス)について理解している。	a						
(2) 社会保険の目的と分類	●社会保険の目的(病気・けが、障害、出産、死亡、失業、老齢等の保険事故による国民の生活を保障する)を理解している。 ●協議の社会保険(年金、医療、介護)と労働保険(労災、雇用)を含む広義の社会保険の分類を理解している。	a						
(3) 現行社会保険制度の種類・給付目的と保険者	●現行の社会保険制度が11種類あることを理解している。	b						
(4) 各制度の所轄官庁と請求・相談等の受付窓口	●社会保険の所轄官庁と相談・受付機関・窓口がどこであるかを理解している。	a						
(5) 保険事故・適用事業所	●保険事故の意味及びその種類の概略を理解している。 ●社会保険の適用事業所の概要を理解している。	c						

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
<b>9. 社会保険の基礎知識(2) 医療保険・介護保険</b>								
(1) 健康保険(健保)	●概要、保険者、被保険者等の基礎知識がある。	a		2				
(2) 健保の種類	●全国健康保険協会管掌健保(協会けんぽ)と組合健保の概要を理解している。	a	3	2		4	3	
(3) 健保の被扶養者	●被扶養者の要件の概要を理解している。	a						
(4) 健保の給付の種別・種類	●本人給付と家族給付、現物給付と現金給付等の概要を理解している。 ●療養の給付、家族療養費、出産給付、死亡給付の概要及び年齢に応じた医療費負担を理解している。	a		[33]			[38]	[33]
(5) 健保の保険料	●標準報酬月額、標準賞与額、政管健保と組合健保の保険料、総報酬制の保険料、保険料の負担者や負担割合の概略を理解している。	b						
(6) 健保その他		—						
(7) 国民健康保険(国保)	●その概要、保険者、被保険者等の基礎知識を理解している。	a						2
(8) 国保の給付内容	●傷病給付、出産給付、死亡給付の概要を理解している。	b			[34]			
(9) 国保の保険料	●その概要を理解している。	b			2			2
(10) 退職後の医療	●任意継続被保険者の概要及び選択肢について理解している。 ●国保の退職者医療制度。退職被保険者等の概要を理解している。	b			2	[39]	3	[39]
(11) 長寿(後期高齢者)医療制	●制度の概要と仕組みを理解している。	b	[29]		2			
(12) 介護保険の概要と仕組み	●制度の概要と仕組みを理解している。	a	4					3
(13) 介護保険の保険者・被保険者	●保険者が市町村及び特別区(東京都)であること、被保険者の要件・種類を理解している。	a						
(14) 介護保険の保険料	●仕組みの概要を理解している。	b						
(15) 要介護認定	●申請から結果までの概要を理解している。	b						
(16) 介護保険その他	●ケアプラン、介護サービス、利用者負担分等の概要を理解している。	b						3
<b>9. 社会保険の基礎知識(3) 労災・雇用保険その他</b>								
(1) 労災保険の概要	●制度の概要、保険者、給付を受けられる者の範囲等を理解している。	a			3			
(2) 労災給付	●その概要を理解している。	b			3			
(3) 労災保険料	●保険料負担者は誰かを理解している。	b			3			
(4) 労災の特別加入	●その概要を理解している。	b			3			
(5) 雇用保険の概要	●制度の概要、保険者、被保険者等を理解している。 ●失業とは何かを理解している。	a	5					
(6) 求職者給付・就職促進給付の給付内容	●基本手当について理解している。	a			[40]	5	4	4
(7) 雇用継続給付・教育訓練給付	●高齢雇用継続給付・育児休業給付・介護休業給付の概要を理解している。 ●教育訓練給付の概要を理解している。	b		3.[39]				
(8) 雇用保険三事業		—						
(9) 雇用保険料	●被保険者にも一部負担があることを理解している。	c						
<b>9. 社会保険の基礎知識(4) 公的年金制度の概要</b>								
(1) 沿革	●昭和36年4月と昭和61年4月がどういう意義があるかを理解している。	b						
(2) 旧年金と新年金	●「〇〇歳に達する」とはいつのことか理解している。	c						
(3) 年金制度の種類	●国民年金(国年)、厚生年金保険(厚年)、3共済があることを理解している。	a	6				5	
(4) 年金給付の種類	●老齢(共済の場合は「退職」、障害、遺族)の3種類であることを理解している。	a					5	
(5) 現行の年金制度の仕組み	●国民年金第1号～第3号被保険者の各々の区分、保険料等について理解している。 ●強制加入と任意加入について理解している。 ●国民年金の上乗せ年金(2階建部分)としての厚生年金、共済年金があることを理解している。 ●年金改正(年金改革)の概要を理解している。	a		8				5

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
<b>9. 社会保険の基礎知識(5) 老齢給付</b>								
(1) 老齢基礎年金の受給資格期間	●原則1号+2号+3号≥25年であることを理解している。 ●合算対象期間(カラ期間)の考え方とこのカラ期間も上記の25年にプラスできることを理解している。 ●原則以外に特例があることを理解している。	a	7		5			
(2) 受給開始年齢	●原則「65歳」であることを理解している。 ●被用者年金には「特別支給」は生年月日により60歳から64歳で受給できる人がいることを理解している。 ●被用者年金の「受給開始年齢の引き上げ」(部分年金とその部分年金の廃止)について理解している。 ●老齢基礎年金の「繰上げ」受給制度について理解している。 ●「繰下げ」受給制度もあることを理解している。	b	[38]	[40]		6 [40]	5	[40]
(3) 年金額の計算にあたっての基礎知識	●保険料免除制度(半額免除制度を含む)があることを理解している。 ●年金の「物価スライド」についての概要を理解している。 ●老齢基礎年金の満額を覚えている。 ●「加入可能年数」について理解している。	a						
(4) 老齢基礎年金額の計算	●65歳からの老齢基礎年金額(付加年金額を含む)の計算ができる。	a			4	[32]	[32]	
(5) (特別支給の)老齢厚生年金額の計算にあたっての基礎知識	●年金上の「配偶者」(内縁関係を含む)「子」の概念を理解している。 ●「生計同一関係」「生計維持関係」を理解している。 ●「加給年金額」の受給要件等理解している。 ●特別支給の老齢厚生年金額の基本式[定額部分+報酬比例部分+(加給年金額)]を理解している。 ●総報酬制実施後の報酬比例部分の計算式を理解している。	b			[39]	6	[40]	6
(6) 特別支給の老齢厚生年金額の計算	●所与の条件で(特別支給の)老齢厚生年金額の計算ができる。	a				[40]		
(7) 在職中の特別支給の老齢厚生年金(いわゆる「在職老齢年金」)	●「在職」とはどういうことが説明できる。 ●平成17年4月以降の在職老齢年金(60歳前半と後半)の仕組みの概要を理解している。 ●70歳以降在職の場合の年金(加入の可否、保険料、年金額等)がどうなるかを理解している。	a		4			[39]	
(8) 65歳からの老齢厚生年金	●60歳からの年金と65歳からの年金の関係を理解している。	b		4	6			
(9) 振替加算	●振替加算の意味、用件を理解している。	b						
(10) 老齢基礎年金の「一部繰上げ」と「全部繰り上げ」	●その概要を理解している。	b						
(11) その他		-						
<b>9. 社会保険の基礎知識(6) 障害給付</b>								
(1) 概要	●次の用語「初診日」「障害認定日」「治る」「障害等級」を理解している。	c						
(2) 障害基礎年金	●受給要件の原則を理解している。 ●保険料納付要件について理解している。	c						
(3) 障害厚生年金	●受給要件を理解している。 ●障害等級により受給額が変わることを理解している。	c						
<b>9. 社会保険の基礎知識(7) 遺族給付</b>								
(1) 遺族基礎年金	●受給要件及び受給できる遺族(子のある妻または子)について理解している。 ●遺族基礎年金額(子の加算を含む)を理解している。	a	[33]	5	[34]	7	[33]	[32]
(2) 遺族厚生年金	●受給要件、受給できる遺族とその順位を理解している。 ●遺族厚生年金の基本式を理解している。	a	[33]	5	[34]			7
(3) 中高齢寡婦加算(中高齢の加算)と経過的寡婦加算		-		5		7		
(4) その他	●「寡婦年金」「死亡一時金」の概要と相互の関係を理解している。	b		5				
<b>9. 社会保険の基礎知識(8) 公的年金給付のルール等</b>								
(1) 年金の裁定請求	●裁定請求の意味を理解している。	a	8					
(2) 受給権発生日と受給期間	●年金の受給期間について理解している。	b						
(3) 年金の支給月	●通常の支給月(偶数月)にいつの分が支給されるかを理解している。	b						
(4) 年金の併給調整	●併給調整とは何かを理解している。	b					6	
(5) 厚生年金と共済年金その他	●老齢年金における、公的年金と私的年金の違いについて理解している。	b						

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
<b>10. 企業年金その他の年金制度</b>								
(1) 企業年金	●適格退職年金の概要を理解している。 ●厚生年金基金の概要を理解している。 ●確定拠出年金(企業型)の概要を理解している。 ●新しい確定給付企業年金(「基金型」と「規約型」)の概要を理解している。	a		6,8	7,8	8		8
(2) 自営業者等のための年金	●国民年金基金の概要を理解している。 ●小規模企業共済制度の概要を理解している。 ●確定拠出年金(個人型)の概要を理解している。	a	9,[40]	7,8	7,8	[38]	7	9
<b>11. 私的年金のいろいろ</b>								
(1) 公的年金の補完としての個人年金	●将来の公的年金や企業年金等の職域年金の相対的地位低下の意味と個人年金の補充の重要性について理解している。	b						
(2) 生保の年金商品の概略	●生保の個人年金商品の種類(有期年金、確定年金、終身年金、変額年金、夫婦年金、利率変動型年金など)と特色を理解し、保険料の支払方法、定額型、増額型の仕組みを理解している。	a						
(3) 損保の年金商品の概略	●損保の年金商品の種類と特色を理解している(年金払い積立傷害保険など)	b						
(4) 簡保、共済の年金商品	●簡保の個人年金保険、JA共済、全労済等の個人年金共済の種類と特色を理解している。	a						
(5) 銀行の年金商品の概略	●銀行等の個人年金型商品の内容を理解している。	c						
(6) 証券会社の年金商品の概略	●証券会社が取り扱う年金の内容を理解している。	c						
<b>12. 退職金制度</b>								
(1) 退職金制度の種類	●退職一時金・退職年金の仕組みや早期退職優遇制度・退職金分割前払い制度などについて理解している。	b						
(2) 退職一時金と税務	●退職一時金に対する税金についての知識がある。 ●役員退職金の支払われ方についての知識がある。	a						
(3) 死亡退職金の取扱	●死亡退職金の所得区分と非課税枠等慰金の知識がある。	b						
<b>13. リタイアメントプランの考え方</b>								
(1) リタイアメントプランの意義	●豊かな老後をめざすリタイアメントプランの意義が理解している。	a						
(2) リタイアメントプランの基礎知識	●退職後の必要生活資金、平均支出額、収支の差額についての基本的な数値を理解している。 ●平均余命、必要貯蓄額、保障、運用スタンスについての考え方を理解している。 ●退職前・退職時・退職後のライフイベント表を作ることができる。	a						
(3) 老後の保障についての考え方	●公的医療保険制度、老人保健制度、民間医療保険のカバーの限界、公的介護保険制度等についての基本的な知識を理解している。 ●老後のための、生・損保商品の知識がある。	a						
(4) 老後の資産運用の考え方	●老後の資金運用の基本を理解し、それに適した金融商品の知識がある。 ●運用の基本方針とポートフォリオの組み方が理解している。	b						
(5) 年金担保貸付制度	●年金担保貸付制度の仕組みを理解している。	c						
(6) リバースモーゲージ他	●リバースモーゲージ(国の制度である「長期生活支援資金制度」を含む)の仕組みを理解している。	a						
(7) 高齢者の住まいと選択	●さまざまな高齢者用施設・住宅一介護保健施設(特別養護老人ホーム(特養)・老人保健施設(老健)・療養施設)、養護老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム、高齢者優良賃貸住宅、シルバーハウジング、グループホーム等の仕組みの概要を理解している。 ●退職者を対象とした海外移住(短期滞在を含む)についての基本的な知識がある。	b						
(8) 成年後見制度	●成年後見制度、とくに任意後見制度の概要を理解している。	b						
(9) 年金に関する税務	●所得税、公的年金等控除、人的控除(老年者控除、老人配偶者控除など)、雑所得の計算などに関する知識がある。 ●障害給付、遺族給付は非課税であることを理解している。	a						
(10) 少額貯蓄非課税制度	●制度の概要と対象者を理解している。	a						
<b>14. 情報収集</b>								
(1) 必要な情報の種類	●プラン作成に最低限必要な情報は何かを把握できる。	a						
(2) 情報の収集先	●一般的なメディアからの情報収集能力がある。	a						
(3) 情報の分析		-				2		
(4) 最新の動向に関する知識	●ライフプランニング・リタイアメントプランニングに関する最新情報を把握している。	a						